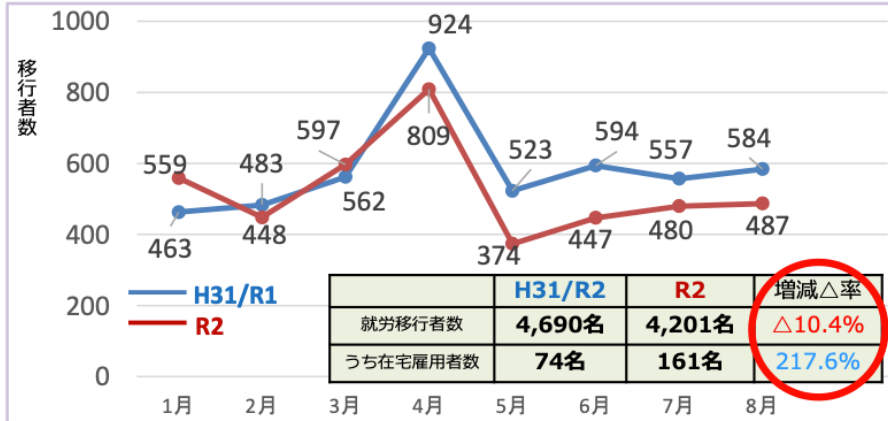


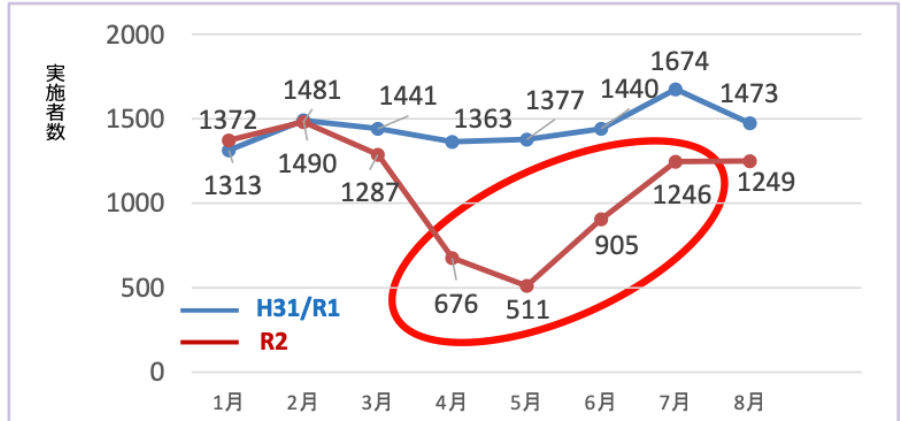
直近の就労移行支援事業所における就職活動支援の状況

- 新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中で、就労移行支援における就職活動支援の状況は、
- ① 一般就労移行者数は前年度に比べて約10.4%の減少。特に5～6月は前年比20%超の減少。在宅雇用者数は、前年から大きく増加。
 - ② 職場実習の件数は4～7月にかけて大幅に減少。事業所が就職活動支援として力を入れている取組としては、「体調管理やモチベーションの維持のための支援」のほか、「オンラインによる就職活動支援」や「在宅雇用を目指した内容を導入」を挙げた。
 - ③ 今後の見通しとしては、「回復の見通しが立っていない」と回答した事業所と、「今後回復が見込まれる」「既に回復している」等と回答した事業所は共に約5割。

① 就労移行支援終了後の移行者数の状況（前年比較）



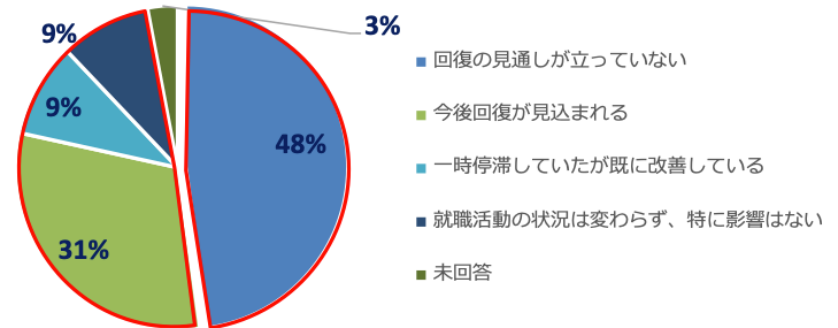
② 職場実習実施者数の状況（前年比較）



③ 就職活動支援で注力していること

取組内容	件数	割合
オンラインによる就職活動支援を実施	438	31.2%
訓練・プログラム等について在宅雇用を目指した内容を導入	374	26.6%
体調管理やモチベーションの維持のための支援に注力	1,200	85.3%
就労移行支援の支援期間の延長を実施	567	40.3%
新たな職域（業種、業界、分野）の企業等の開拓を努力	618	44.0%
障害者雇用の経験がない企業に受け入れを働きかけ	411	29.2%
障害者の雇用受け入れ実績のある企業に対してアプローチ	759	54.0%
特に取組なし	81	5.8%

④ 今後の見通し（R2年8月現在）



注）数値は調査期間終了時点（9月16日（水）17:00）の速報値であり現在精査中